

# 沖縄県さくらねこTNRプロジェクト 実施報告書



主 催：公益財団法人どうぶつ基金

申請者：沖縄県うるま市、北谷町

会 場：沖縄県うるま市石川石崎1丁目1 うるま市役所石川庁舎

期 間：平成29年10月30～11月3日（手術日）



公益財団法人  
どうぶつ基金

[www.doubutukikin.or.jp](http://www.doubutukikin.or.jp)

どうぶつ基金

検索

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 0797-57-1215 [info@doubutukikin.or.jp](mailto:info@doubutukikin.or.jp)

## 申請事業の背景・必要性及び目的

うるま市環境課には近年猫による被害の相談や苦情が多く寄せられており、そのほとんどは屋外飼育や捨て猫から繁殖した所有者不明猫によるものと思われ、ゴミあさりや糞尿被害が問題となっている。

これら猫の繁殖に起因する問題解決を目指すとともに猫の適正飼養の啓発を図るため公益財団法人どうぶつ基金による「さくらねこ無料不妊手術事業」制度を活用し、T N R 方式による不妊去勢事業を実施する。

また、市内では既にボランティア団体による独自の T N R 活動が行われているものの、費用等が大きな負担となっていることから、今回の事業をボランティア団体等と共に実施することにより、今後の協力体制を構築し市民協働による問題解決に繋げることを目的とする。

(うるま市報告書より)



## うるま市の現状

### ①新夢咲公園

州崎の工場地帯に位置し、夜間は人通りが少なく猫の遺棄が多発する場所で不特定多数による餌やりが行われている。同地で繁殖した野良猫は50頭以上生息していると思われ、公園内で糞尿被害が確認される。ボランティアにより一部の猫は不妊手術されているが割合が高い為増加している。

### ②宇堅ビーチ周辺

宇堅ビーチ近くの基地周辺で数名による餌やりが行われており20頭以上が生息していると思われ、近接する牧草地で糞尿被害が確認されている。ボランティアにより一部の猫は不妊手術されているが割合が低いため猫が増加している。

### ③うるま市島しょ地域

猫の遺棄や無責任な餌付けが多く猫が増加しており、自治会や地域住民からの被害苦情が寄せられる。一カ所につき20頭ほどが生息していると思われ、放し飼いが多い地域でもあるため適正飼養の啓発が求められる

(うるま市報告書より)



## 北谷町の現状

北谷町の西海岸に位置し、町民だけでなく多くの観光客が訪れ、米軍人・軍属も居住している地域である。

ウォーキングロードや観光地になっているが、所有者不明の猫に対するエサやりが散在的に行われているため、繁殖した猫による居住環境の苦情が多くある。

ボランティア団体や個人の方々により一部の猫は不妊去勢手術されているが割合が低いため所有者不明の猫が増加している。（北谷町申請書より）

## 申請事業の背景・必要性及び目的

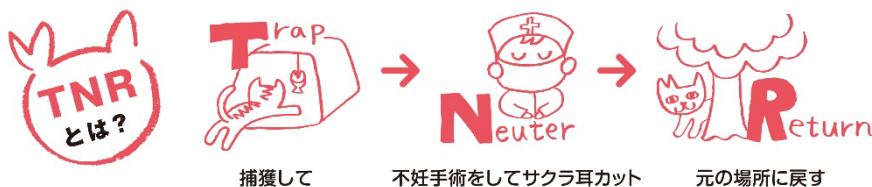
### 背景・必要性

北谷町には猫による居住環境の苦情や相談が多く寄せられている。  
命ある生き物のため殺処分を減らしたい。

### 目的

繁殖しすぎた所有者不明の不幸な猫を減らすため  
猫による生活環境被害の軽減の手段

（北谷町報告書より）



## 手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
10月30日	8	12	0	20
10月31日	50	48	2	100
11月1日	43	51	2	96
11月2日	49	61	1	111
計	150	172	5	327

## ●うるま市手術数

オス81頭、メス92頭、 合計173頭

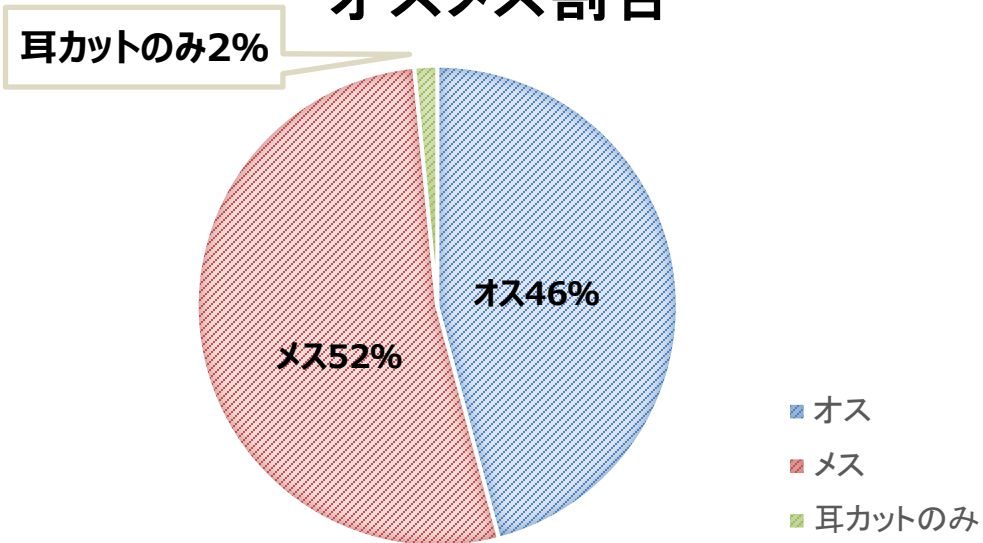
## ●北谷町手術数

宮城区35頭、砂辺区80頭、北谷公園内16頭、  
安良波公園内25頭、 合計156頭

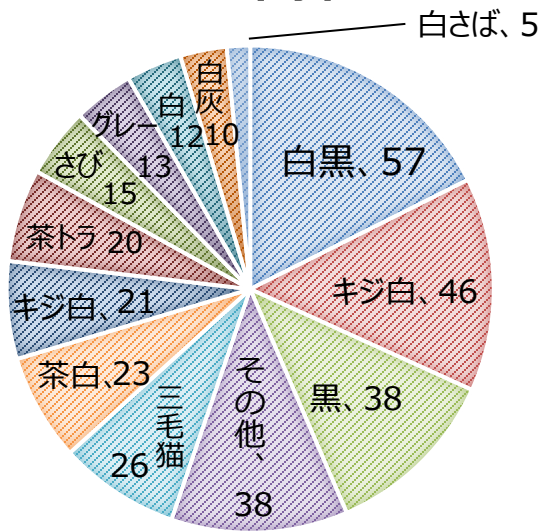
## 処置内容

不妊去勢手術、耳先のV字カット（さくら耳）、3種混合ワクチン  
ノミ・ダニ・回虫の駆除薬（レボリューション）、目薬、補液等

### オスメス割合



### 毛色割合



どうぶつ基金：山口、足立、平野

ボランティア参加：齋藤

沖縄県動物愛護推進センター：3名



●山口獣医師



●足立獣医師

広報チラシの配布や広報車両による周知を徹底することで、住民の理解や猫の情報を得ることができ飼い猫の捕獲及び手術を未然に防ぐことができた。また、急なスケジュール変更があったが柔軟な対応で目標頭数を超える156頭の所有者不明猫に不妊去勢手術を施すことができた。

宮城区でのボランティアが少なく、協力者が外国人ということもあり、十分な捕獲ができなかった。

当初は宮城・砂辺区内という予定だったが台風の襲来により、捕獲日程に影響が生じ目標であった150頭に満たないペースだったため、急遽北谷公園及び安良波公園に生息する所有者不明猫を捕獲し不妊去勢手術を施すことで目標頭数を達成することができた。

(北谷町報告書より)





本事業では手術予定頭数を150～200頭を目標に取り組んだ結果、オス81頭、メス92頭の合計173頭に不妊手術を施し全頭に耳カットをしたので実施計画に想定した成果は得られたものと考えている。

また、同時期に北谷町が実施したさくらねご事業の手術場所を本市が提供し共有することで本市のみならず、沖縄県内の野良猫の繁殖抑制に貢献できたものと認識している。

また、適正飼育に関する啓発については、新聞やネットニュースに掲載されたことや県内市町村（動物担当）の視察より、猫の適正飼養について広く周知することができた。

その他約100名のボランティアの参加により事業を実施することができた。

現在も市内の猫問題について情報交換をしており、今後も猫問題に取り組む協働体制を構築する取り組みとなった。

以上が実施事業の成果だが、本市にはまだ不妊手術の実施が必要な箇所が複数あることから、継続した取り組みが必要と考えている。

（うるま市報告書より）





●手術前の準備中



●安定剤注射を打ちます



●手術待ちの猫たち



●沖縄県動物愛護推進センターの皆さん



●手術中

左から山口獣医師、齋藤獣医師、平野獣医師

琉球新聞 (11月5日)



沖縄タイムス (11月9日)



現在、県内自治体職員や住民から問合せが相次いでおり、T N R 活動への理解や殺処分削減に向けた気運の高まりを感じている。

事業実施案以外にもチラシや口コミ等で情報が広がり、行政への問合せが多々あった。猫が好きでえさやりをしている人、猫の糞尿に困っている人など問合せは様々だったが、所有者不明猫への不妊去勢手術の必要性を伝えることで、TNR 事業に対する町民の関心が高まった。

(北谷町報告書より)

事前の情報収集として、地域猫事業を進めている岩手県盛岡市へ市職員が訪問し情報収集を行った。また、県内で実施された T N R 活動に参加することで事業の明確なイメージを持つことができた。

(うるま市報告書より)



今回は北谷町内の所有者不明猫に対し無料出張手術を実施していただきありがとうございました。

TNR事業は猫による生活環境被害の軽減及び殺処分ゼロを目指す動物愛護活動にも効果のある事業だと考えています。

町は本事業を通し、継続して飼い猫の適正飼養や繁殖を望まない猫への不妊去勢手術の必要性を普及啓発していきたいと考えていますので、今後ともご協力よろしくお願いします。

(北谷町報告書より)

---

「うるま市さくら猫事業」におきまして多大なるご協力誠に感謝いたします。

本事業で市内173頭の猫の不妊手術を実施したことで、野良猫の繁殖抑制ひいては野良猫の殺処分削減に一定の成果をあげることができたと考えております。今後も動物と人が共生できる社会を目指し取り組んでまいりますので、引き続きさくら猫事業の採択をお願いします。

(うるま市報告書より)





公益財団法人どうぶつ基金

沖縄県